

レッツ！ぼうさい～あいくるで行っている防災の取り組み～

児童・保護者向けに災害から身を守る楽しく学べる講座を、福岡市立中央児童会館「あいくる」で毎月第1日曜日の14時から約40分間実施しています。

リーダー会のメンバーが得意とする分野で年間計画を立て、各々実施する腕試しの機会にもなっています。会場はフードコートのようにオープンなスペースで、自由参加方式のため、しっかりと子供たちにわかるよう自分の言葉で話さない、いつの間にか子供たちは離れていきます。

地域で行う同じ講座でも、あの手この手と趣向を練りながら行っています。

参加希望の方は、各支部長へお問い合わせください。

(取りまとめ担当：博多支部 小森 勝輝)



トピックス ～活動部会の新たな取り組みについて～

今年度から活動部会長を務めております早良支部の松本です。活動部会は主に新しく入会された会員の方への基礎的な研修を行う部会となっております。

今年度はリーダー会にてお受けする出前講座(DIG、HUG、クロスロード)について、講座依頼から実際に講座を行うまでの流れや講座の進め方などメイン・テーブルファシリテーターに必要な知識について研修を行いました。

9月4日(水)には博多支部 小森元会長によるDIG、10月2日(水)には南支部 因幡会長によるHUG、11月6日(水)には城南支部 吉田副会長にクロスロードをそれぞれ講義いただきました。

これらの講義については後日QRコードの動画配信を行う予定ですので、講座に参加出来なかった方もご覧いただけます。

次年度以降もその他講座について研修を行う予定です。

ご希望の講座のリクエストがある場合は各支部長様経由で松本までご連絡願います。

皆様の講座への参加をお待ちしております。

(活動部会長 松本 一郎)



訃報

副会長 上野直美様が、令和6年7月9日に御逝去されました。御生前の御厚情に深謝するとともに、心より御冥福をお祈り申し上げます。



博多あん通信

発行元：
博多あん(安全)・あん(安心)リーダー会
代表幹事会長 因幡 那水

ホームページはこちら→



2024年(令和6年)

12月1日号

< No. 44 >

令和6年定期総会

去る5月12日(日)、福岡市NPOボランティア交流センター「あすみん」にて、令和6年度リーダー会定期総会を開催いたしました。

総会員数215名中(2024年3月現在)、出席者82名、委任状提出者77名のもと、第1号議案から第5号議案までのすべての議案が承認されたことを、ここにご報告いたします。

総会後に行われた研修会では、「避難所での心と体の健康」をテーマに、株式会社コロがらん本舗のスーパーバイザー 西内久人氏(福岡大学・西南学院大学・福岡女学院大学非常勤講師)による研修を行いました。西内氏考案の「にぎにぎ体操」を参加者全員で実際に体験することで、会員相互の親睦を図ることができました。

また、研修を通して日々の健康づくりが心身における生活の質(QOL)を高めることにつながると再認識しました。

本会の基本理念である「自助」「共助」の実現には、心身の健康が何よりも大切です。この研修で学び得たことを、今後の活動に活かしていきたいと思っております。

発案・企画に携わってくださった研修部会の皆様に心より感謝申し上げます。

(代表幹事会長 因幡 那水)



にぎにぎ体操

博多あん・あん塾開講～福岡県西方沖地震、あれから20年～

福岡市主催の防災士養成講座「博多あん(安全)・あん(安心)塾」が今年度も開催されました。本講座の目的は、平成17年3月に発生した福岡県西方沖地震の教訓を踏まえ「災害に強い安全で安心なまちづくり」を実現するための地域や企業における「防災リーダー」の養成です。

当会メンバーはDIG(災害図上訓練)・HUG(避難所運営ゲーム)の講座を担当しました。今回は年齢層が幅広く、受講者も100名を超え、刮目の質問、闊達な意見交換などを通して、私たちにとっても大変有意義な学びの機会となりました。

防災士は、常に時流に敏感であり、時代に適応したその能力の習得、研鑽をしなければなりません。福岡西方沖地震が起こった時に、今のようなスマホ時代が来ると誰が想像していたでしょうか。「防災省」が誕生しようとする今日、私たちは、常に意識と知識をアップデートすべきと考えています。

(代表幹事会長 因幡 那水)



防災・お天気フェア2024

7月28日(日)に福岡管区气象台で「防災・お天気フェア2024」が開催され、リーダー会も参加しました。

イベントには夏休みの自由研究の題材にしようと子ども連れの家族も多数訪れ、大人も子どももワイワイと盛り上がり、目に見える防災普及の大切さを感じました。

(広報部会 本岡 俊徳)



東吉塚校区自治協議会育成部会クロスロード～博多支部～

6月12日（水）19時から1時間、東吉塚公民館でクロスロードを実施しました。

東吉塚校区は宇美川に隣接し、洪水ハザードマップで3m未満までの浸水地域が多くあります。洪水時の避難所としては、東吉塚小学校は使用不可、近くの吉塚小学校も2階未満は使用不可という校区であることから、洪水対策への意識が高く、約60名の受講参加者の約9割が子育て世代の保護者でした。「小さな子2人を連れて自分1人でどうしたらいいのか」、同じテーブル内では家族構成や心配ごとを共有するコミュニケーションが熱心に行われました。共助の元となる班分けの工夫にも育成部会の防災力向上の狙いが感じとれます。

クロスロード後は、育成部会の皆さんが準備した普段から持ち歩く「防災ポーチ」作りが実施されました。育成部会では、連絡手段・事前資料の配布やアンケートなど、普段より共有がしやすいスマートフォンを活用しており、段取り、チームワークの高さには感銘を受けました。

(博多支部 今泉 薫)



実践形式のリアル HUG～南支部～

6月27日（木）、大楠小学校の6年生向けに総合学習の時間に実践形式のHUG（避難所運営ゲーム）を行いました。

校区内に警固断層が近くにあることから、震度6強の直下型地震が当日午前9時に発生したと想定しスタート。62名の子ども達が5班に分かれ、体育館を避難所として運営を始めます。

体育館横にある福岡市防災倉庫から必要物資を取り出し、総務班を中心に各班に振り分けていきます。保護者や地域の方が避難者役となり、ケガをした方、ペット連れの方、外国人としてやって来ます。仮設トイレが明日届く、食料を寄付したい、掲示板が欲しい...次々にくる課題を子ども達が話し合い、クリアしていきます。

防災倉庫のテントを組み立てたり、防災ラジオのスイッチを入れたり子ども達にとっては初めての経験でしたが、防災学習とともに災害への備えを考えるキッカケ作りになったのではないのでしょうか。

(南支部 入江 修)



オープンホスピタル「みんな祭」に参加～早良支部～

10月26日（土）に医療法人浜江堂（みんこうどう）油山病院で開催された「みんな祭」に参加しました。リーダー会のホームページを通しての参加依頼でした。

今年で16回を迎える「みんな祭」は、患者さん、利用者さん、ご家族の皆さん、地域の皆さんを対象として、みんなが楽しめるみんなのお祭りで、会場は油山病院内や外庭でした。

「防災コーナー」「息災コーナー」「ステージ」「フードコーナー」など多彩な催しで、多くの方で賑わいました。リーダー会の参加は初めてで、早良支部では「非常持ち出しゲーム」「非常時のトイレ問題」を5名のスタッフで行いました。

地震や水害などの自然災害のニュースが多く聞かれるようになったこともあり、立ち寄られた方々は防災意識も高く、防災ゲームを楽しみながらも、備蓄品に興味深く見ては質問も受けました。

小さなお子さんを連れた家族もみられたため、来年もお声がかかれば、「紙芝居」もやってみたいと思っています。

(早良支部 笠松 直樹)



西区まるごと博物館 in 姪浜中央公園 2024～西支部～

10月6日（日）姪浜中央公園で「西区まるごと博物館」が開催されました。

人形芝居などの団体による演目、手作り教室では勾玉作りやバードペインティング、また消防車や九州電力高所作業車の試乗体験などに、多くの方が来場されました。

物品販売や食料品販売など20団体の出店の中に、リーダー会西支部は、『身近な防災・減災』へ非常持ち出しゲーム等で興味を持つ』として出展し、非常持ち出しゲーム・持出グッズの展示&重量体験・防災カルタ・防災工作（カップ作り）・紙芝居・防災資料（福岡市マイタイムライン、防災ミニブック、西区ハザードマップ）の展示配布を行いました。

ブースには、防災に興味をよせた約150名の来観者があり、特に防災工作（カップ作り）は、子ども達が喜んで楽しみながら工作していました。

会場周辺はマンション住民が多く、集合住宅防災に関心が高いようでした。

(西支部 吉田 義正)

